

輸送動向について(6月分)

平成21年7月

1. 輸送概況

今月は、上旬に東海道線において送電設備の不具合による輸送障害が発生した他、人身事故等による遅れが度々発生し、月全体で高速貨22本が運休した。

荷動きについては、前月に比べわずかに改善したものの、需要低迷に伴う生産調整が継続していることから、前年を大きく下回って推移した。

コンテナ貨物は、食料工業品が唯一前年を上回ったものの、自動車部品、紙・パルプ、農産品・青果物などその他すべての品目が前年を下回り、全体では前年比87.0%となった。食料工業品は、北海道地区の砂糖の出荷が好調に推移したこと及び食品メーカーのモデルシフトが進展したことにより増送となった。一方、農産品・青果物は、飼料用政府米の販売低迷が継続し減送となった。なお、自動車部品、化学工業品などは前年を大幅に下回っているものの、前月と比較して緩やかにではあるが回復傾向がみられた。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石などが前年を下回り、全体では前年比94.9%となった。石油は、揮発油が前年の価格高騰により需要が落ち込んだ反動で上回ったものの、生産活動の低迷及び燃料転換の影響を受けた軽油、重油が減送となり、全体としては僅かに前年を下回った。セメント・石灰石は、工場の定期修理等により減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,639	1,883	87.0%	4,792	5,726	83.7%
車 扱	757	798	94.9%	2,281	2,582	88.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	111	135	-24	82.2%
	化学工業品	162	187	-25	86.6%
	化学薬品	121	138	-17	87.7%
	食料工業品	289	288	1	100.3%
	紙・パルプ	255	311	-56	82.0%
	他工業品	122	153	-31	79.7%
	積合せ貨物	185	197	-12	93.9%
	自動車部品	54	77	-23	70.1%
	家電・情報機器	37	39	-2	94.9%
	エコ関連物資	29	31	-2	93.5%
	その他	274	327	-53	83.8%
	コンテナ計	1,639	1,883	-244	87.0%
車 扱	石油	478	486	-8	98.3%
	セメント・石灰石	95	125	-30	75.8%
	車 両	73	77	-4	94.2%
	その他	112	110	2	101.8%
	車 扱 計	757	798	-41	94.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)